

バックスマーシュ・グラマー校へホームステイ

国際化時代に生きる人材育成を目的として平成8年度から始まった町の海外派遣事業も、今回で16回目を迎えました。夏休み期間を利用し、菊陽中学校と武蔵ヶ丘中学校の2年生から6人ずつ計12人の生徒が、7月23日から8月5日までの2週間オーストラリアに派遣されました。

現地ではバックスマーシュ・グラマー校の授業に参加し、9日間のホームステイを体験しました。生徒たちは、外国での生活をとおして、日本では得ることのできない貴重な体験ができ、また新たな目標ができたようです。



菊陽中学校



うえむら ひかり
上村 光麗さん

もっと勉強してたくさん
の人と話したいです

私にとって、オーストラリアでの海外派遣事業は、とても貴重な体験となりました。不安だったホームステイも、次第に英語での会話ができるようになりました。寂しい気持ちにもなったけれど、多くの人と話し、コミュニケーションをとることで和らぎました。

この事業に参加して、家族や友達の大切さを感じました。そして、これから英語をもっと勉強して外国に行き、たくさんの人と話したいです。



さくもと さちこ
作本 幸子さん

英語が伝わると大きな
自信になりました

私はこの事業に参加して本当によかったです。最初は自分の話す英語が伝わるのか不安でしたが、伝わるんだと分ると、それが大きな自信となり、より多くの人と話せることができました。話す相手のおかげで、楽しいので、またいろんな人と話したいという気持ちになります。2週間が一番感じたことは、英語が使えることがどんなに楽しくてうれしいかということです。この経験を生かし、これからの勉強への姿勢、そして将来につなげていきたいです。



なかむら みさき
中村美紗希さん

自分の意思を伝えること
が大切だと分かりました

私は今回の海外派遣でたくさんの思い出と経験ができました。外国語という壁は大きく、ジェスチャーなどを使って伝えることができました。1人で不安なことたくさんありましたが、支えてくれる友達だったので、2週間を楽しむことができました。現地の人にはたくさん助けられました。外国では、とにかく自分の意思表示が大切だということを学びました。大聖堂やオペラハウスなど、観光や特産品を食べたりできて、とても充実した2週間になりました。

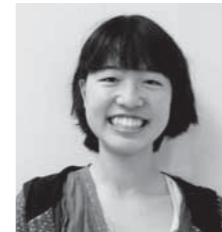
武蔵ヶ丘中学校



かなざわ りつか
金澤 雅緯さん

もっと英語を理解し話せ
るようになりたいです

オーストラリアに行った当初は、意味の分からない会話だらけでした。だから、少しでも意味が分かったり、自分の言いたいことが伝わったりしたときは、とてもうれしかったです。そして、その度に、もっと英語を理解できるようになりたい、話せるようになりたいと思いました。また、オーストラリアの人はとても親切でした。今、日本は外国人との間にたくさん問題を抱えています。僕は外国人と仲良くしていきたいと思いました。



かわばた ようこ
川畑 桜子さん

オーストラリアと日本の
素晴らしさを知りました

この2週間で、私はオーストラリアの素晴らしさ、そして日本の素晴らしさを知ることができました。私が現地で一番楽しかったことは、ホームステイ先の家族と卓球をしたことです。日本と違うところがたくさんあったけど、試合をすることができて本当に楽しかったです。他の都市では、オペラハウスなどの有名な観光スポットにも行き、見ることもできました。この機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。良い経験となりました。



こにし あみ
小西 亜美さん

英語が好きになり楽しさ
が分かりました

私は海外派遣事業に参加してみて、自分が知っている言葉が全然伝わらなくて、自分から苦手の英語を話そうとはしなかったけれど、相手が楽しそうに話しているのにつられて、いつの間にか話していました。大変なことや不安なことがたくさんあったけれど、日本とオーストラリアの人の違い、建物の違いなど、いろいろ勉強になりました。苦手だった英語は好きになり、楽しさが分かるようになりました。海外派遣事業に参加してよかったです。



なかむら ももこ
中村 桃子さん

違いはあっても人の優し
さ温かさは共通でした

オーストラリアでお世話になったホストファミリーには、とても親切にいただきました。言葉や文化の違いに戸惑い、苦勞することはたくさんありましたが、人の優しさや温かさは世界共通であると感じました。

今回、この海外派遣事業に参加できたことは、私にとって大変貴重な体験となりました。お世話になった町の関係者の皆さま、先生方、オーストラリアの皆さんに深く感謝します。ありがとうございました。



ふじもと まさや
藤本 雅也さん

連絡を取って友達にまた
会いに行きたいです

夏休みに海外派遣事業に参加し、冬のオーストラリアで2週間過ごしました。

ホームステイ先はとても明るいローガン家で、日本とは違う食文化や生活習慣などを体験しました。

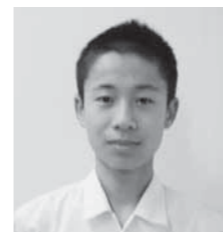
バックスマーシュ・グラマー校では、僕の英語力で会話ができるか心配でしたが、みんなフレンドリーに話しかけてくれ、たくさんの方ができました。これからも連絡を取り合って、また、みんなに会いに行きたいです。



まえだ きょうか
前田 京香さん

オーストラリアで家族の
大切さが分かりました

オーストラリアで感じたことは学校のことです。私たちの学校では、4時過ぎに終わることがほとんどですが、オーストラリアでは3時には終わっていました。それが一番びっくりしたことです。しかし、ホームステイの中でも、たくさん学んだことがあります。それは家族のことです。ホストファミリーはすごく優しくかったです。やっぱり自分の家族がよかったです。オーストラリアで家族のありがたさが分かりました。ありがとうございました。



さかなし しょうた
坂梨 将太さん

コミュニケーションの
大切さを感じました

僕は、今回の海外派遣事業で貴重な経験と一生忘れられない思い出をつくることができました。ホストファミリーは優しく、英語力のない僕が困らないように積極的にコミュニケーションをとってくれました。僕も答えようと、知っている英単語を駆使し、伝えました。お互い通じたときはうれしかったです。このことで、コミュニケーションを取り合う大切さと英語の必要性を強く感じました。この経験は必ず今後に生かしていきます。



なかやま そうた
中山 颯汰さん

自分の想像と違う海外の
おもしろさを知りました

僕はこの2週間、日本では経験できない大切な経験をしました。

オーストラリアは日本とは違う文化や気候、言葉の壁など戸惑うこともありましたが、ホストファミリーの方々の、現地の人の温かい支えなどがあり、この2週間を成功として終えることができました。

自分が思っていたことが全然違ったりするということも海外のおもしろさなので、この経験を将来の夢に生かしていきたいです。



ふるかわ まほ
古川 真帆さん

英語が伝わった感動は
自信につながりました

飛行機で約10時間も離れたオーストラリアに着くと、ダウンなしでは凍えてしまうほどの寒さでした。観光地の中でも、セントパトリック大聖堂の大きなステンドグラスや、オペラハウスのヨットの帆のような屋根の構造が印象的でした。ホームステイ先では、英語だけの生活だったので、苦手な私も自然と話せるようになり、自信ができました。自分の英語が相手に伝わった感動は自信につながり、今後、もっと勉強し、再度オーストラリアに行きたいと思いました。